

2022・2023年度名古屋大学宇宙地球環境研究所 「ISEE Symposium」公募要項

1. 公募事項

名古屋大学宇宙地球環境研究所（ISEE）では、ISEE共同利用・共同研究のFlagship Symposiumとして「ISEE Symposium」を公募によって決定し、年1回程度開催します。ISEE Symposiumは宇宙地球環境研究の推進を目的とした大規模な国際研究集会です。特定の研究テーマの深化、分野を超えた融合研究、新たな研究課題への展望や計画など、宇宙地球環境に関連するあらゆるテーマを対象とします。本公募では、2022年4月より2024年3月までに開催予定のISEE Symposiumの実施案を広く募集します。

2. 申請資格者

- ① 国・公・私立大学及び国・公立研究機関の研究者（学生は含まない）、またはこれらに準ずる研究者
- ② 本研究所長が特に適当と認めたる者

3. 申請方法

- ① ISEE Symposiumは、複数の国や地域から研究者が参加すると共に、ISEEが主たる主催者となり名古屋大学東山キャンパスで開催することを条件とします。ただし、状況によっては、東山キャンパスでハイブリッド開催も認めます。ハイブリッド開催に必要なソフトウェア（ZOOMやSpatial chatなど）の契約費用の補助が必要な場合、ソフトウェアの使用理由や契約期間を申請書に記してください。
- ② ISEE Symposiumの開催を希望する場合は、研究代表者を定め、研究集会の目的、名称、開催予定期間、その他申請事項について事前に本研究所の担当教員（特任教員を除く常勤の教員）と十分な打ち合わせをしてください。
- ③ 申請にあたっては、別添「ISEE Symposium」申請書（別紙様式00）を「9. 提出先」及び「本研究所の担当教員」へE-Mailにて提出してください（「10. E-Mail送付要領」参照）。
- ④ ISEE Symposiumの研究代表者は「研究集会」を含む他の共同利用・共同研究カテゴリにも申請を行うことが可能です。
- ⑤ 申請書にはSymposium開催に際しての準備状況を記述する欄があります。会場の確保、他の研究助成への申請状況、他機関との共催など、準備の進捗について記述してください。
- ⑥ 第4期中期計画期間（2022-2027年度）においては、共同利用・共同研究の多様化と新たな展開を目指し、申請者による提案型の「萌芽研究」「融合研究」を積極的に支援します。宇宙科学と地球科学、あるいは他の分野との融合、新しい分野の開拓を通して、これまで実現できなかった課題（グランド・チャレンジ）に挑戦する提案を歓迎します。これらの「萌芽研究」「融合研究」の申請課題は優先的に採択され、配分額の割合が高くなる可能性があります。この提案を行う場合には、申請書の(4)の該当欄にチェックし、(12)に具体的な内容を記載してください。
- ⑦ 申請に際して、想定される参加者の氏名を申請書に記述してください。海外からの招聘経費が必要な場合は、氏名・所属と予算を別紙（任意様式）に明記してください。ISEE Symposiumに招聘する目的以外の外国人の招聘経費については、別に公募する「ISEE International Joint Research Program」に申請してください。
- ⑧ 申請書の書式ファイルは本研究所のホームページからダウンロードできます。

以下のURLをご覧ください。

研究所ホームページ：<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp>

ダウンロードページ：https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/co-re/2022/kyodo/2022_2023Form00.xlsx

4. 研究集会日程

2022年4月1日から2024年3月31日までの期間から選んでください。ただし、原則として

土、日、祝日は除きます。

5. 申請期限

2022年1月15日 期限厳守

6. 審 査

- ① 採否は、共同利用・共同研究委員会専門委員会（総合解析、太陽圏宇宙線、電磁気圏、大気陸域海洋、年代測定、航空機利用）及び共同利用・共同研究委員会の審議を経て、本研究所長が決定します。
- ③ 共同利用・共同研究委員会専門委員会は、必要に応じて研究代表者から説明を聞くことがあります。
- ④ 審査結果については、2022年1月上旬までに研究代表者あてにE-Mailで通知します。

7. 所要経費

- ① 本 ISEE Symposium の申請経費は、1 件あたり 150 万円以下とします。
- ② Symposiumに必要な経費は、予算の範囲内において配分額が決定されます。
- ③ Symposiumに必要な旅費は、精算払いとなります。
- ④ Symposiumに必要な経費（消耗品費、会議費など）の支出に当たっては、研究代表者の所属機関（または本研究所）の経理担当者等による検収が必要となります。
- ⑤ Symposium参加者の託児支援に関わる経費が必要な場合は、申請書の「(8) 消耗品等」欄に記載ください。
- ⑥ 印刷物の集録を作成する場合は、申請書の「(8) 消耗品等」欄に、その経費を明示してください（なお、集録作成は同一年度内に限るものとします）。

8. 研究報告書

本研究所は大学附置の共同利用・共同研究拠点の研究所であり、本共同研究は、共同利用・共同研究拠点として重要な役割を果たしています。採択されたISEE Symposiumについては、集会終了後、次の要領で、「ISEE Symposium」報告書を提出していただきます。この報告書は、他の共同研究報告書とともに年度毎に本研究所のホームページ上でも公開します。

- ① 現在、ISEEでは共同研究報告書のウェブ提出化を進めており、本ISEE Symposiumの報告書の提出もウェブから行っていただくことになる見込みです。現時点で提出していただく報告書の記述内容は検討中ですが、これまでのISEE Symposium報告に準じた内容のものを想定しております。
- ② 報告書の提出期限は、ISEE Symposiumを開催した年度末（2022年度に開催した場合には2023年3月31日、2023年度に開催した場合には2024年3月31日）とします。やむを得ない事情で提出期限までに報告書を提出できない場合には、本研究所の担当教員と予めご相談ください。
- ③ 提出期限までに報告書が提出されない場合、原則として翌年度の採択は取り消しとなります。

9. 提出先

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学研究協力部研究事業課研究事業係
TEL: 052-789-5464 FAX: 052-788-6254
E-Mail: k-kyoten at* adm.nagoya-u.ac.jp
(at* を@に変更してご使用ください)

10. E-Mail 送付要領

申請書は原則としてE-Mailで送付してください。なお、送付に当たっては、以下の点にご留意ください。

- ① 申請書と報告書は、「9. 提出先」及び「本研究所の担当教員」へ送付してください。
- ② 申請書と報告書の記入内容に不備があるものは、受理できません。
- ③ E-Mailの件名は、「2022・2023 ISEE Symposium申請（申請者名：****）」とし、****の部分に必ず申請者の氏名を記載してください。